

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 元 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	火葬場施設管理運営事業					②事業番号	3204
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	令和 元 年度	⑤終了予定年度	年度 設定なし
⑥根拠法令等	☒ 法令	☐ 条例	☐ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 墓地埋葬等に関する法律
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	補助・負担	☐ その他		
⑧関連予算科目コード	款	4	項	1	目	7	細目 1・2
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
市民生活環境部	環境整備課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 人体を火葬する遺族等	① 人体火葬件数	件
② 動物を火葬する市民	② 愛玩動物を火葬する市民	件
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
火葬場施設の特殊性を鑑み、指定管理制度の導入することにより、高まる市民ニーズに対応し、サービス水準の向上・より柔軟に火葬場施設を常に良好な状態を確保するなどの適正な管理運営を行う。また、旧火葬場(榊井火葬場・西信達火葬場：平成31年3月末で廃止)については、除却までの期間、適正に管理を継続する。	① 火葬件数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
火葬場施設を常に良好な状態を確保するとともに、適正な管理運営を行うことにより、市民(遺族等)に対するサービス水準の向上を図る。	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市民(遺族等)に対し、サービス水準を向上させることができる。	政策(章)	6 みんなでまちづくりに取り組むまち
	施策大(節)	2 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします
	施策中	3 広域連携の強化
	施策小	2 広域連携の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	人体火葬件数	件	688	574	1,236	1,275	1,536	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	愛玩動物を火葬する市民	件	293	311	360	364	364	
活動指標①	使用料	円	10,138	8,468	25,623	21,024	21,024	
活動指標②								令和元年度より泉南阪南共立火葬場として業務を開始したことにより、令和元年度以降の人体火葬件数及び使用料については、阪南市分を
活動指標③								
成果指標①	使用料	円	10,138	8,468	25,623	21,024	21,024	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.28	0.17	0.27	0.27		
	正職員	人	0.00	0.00	0.95	0.95		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	2,248	1,378	5,320	5,320		令和元年度より泉南阪南共立火葬場として管理運営を開始
	直接事業費	千円	18,097	17,238	59,815	56,732		
	総事業費	千円	20,345	18,616	65,135	62,052		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	115	115	110	110		
	受益者負担金	千円	10,138	8,468	16,124	17,500		
	その他特定財源	千円	0	0	25,623	21,024		
	一般財源	千円	10,092	10,033	23,278	23,418		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市内の2火葬場の老朽化に伴い、阪南市と共立で火葬場を建設、平成31年4月から運用を開始した。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	高まる市民ニーズに対応するため、サービス水準を向上させ、より柔軟な火葬場の管理運営を進める必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	阪南市と共立で火葬場を運営することは、広域連携の充実につながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	火葬場は国民の宗教的感情に適合し、かつ公衆衛生その他公共の福祉の観点から、必要不可欠な施設である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	火葬場は市民に必要不可欠な施設であり、火葬場使用料についても近隣市町と比較して適正である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	火葬場は市民にとって必要不可欠の施設であるため、休止・廃止はできない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	指定管理者等により市民ニーズに応えるとともに、適切に管理運営が行われている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	—
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	共立火葬場については阪南市と共立で施設を建設し、平成31年4月より運用を開始したものであり、施設の特長性から他の事業との統廃合や連携はできない。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	事業開始時より指定管理制度を導入することにより、コストの削減に努めている。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	施設の供用開始に伴い、使用料の改定を行ったところであるため、現時点で更なる受益者負担の見直しは困難である。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	平成31年4月より、泉南阪南共立火葬場として施設供用開始、指定管理者により管理運営を行っている。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	改善点等について、軽微なものはその都度指定管理者と協議のうえ、改善。それ以外のものについては、指定管理者の再選定時(次回:令和5年度)に課題を検討のうえ、選定条件に加える等を実施する。	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—	